担当者スポット



講習会のオジ参与、明日も頑張れ

教育研修部　**丸山　雅明**
Maruyama　Masaaki

下ネタのマル参上。おっと、あっちの話だけじゃなくて、都市のシモ、ごみとか下水とかが好きさ。高校では、「ゴミ池」の植生調査に明け暮れるン青年。最終処分場の浸出液貯留池じゃねーョ。長野と群馬県境にある「五味池」。標高1600m、レンゲつつじ群生地。

サンパイに出会ったのは、昭和の御終い頃。不信心者なのでお参りに行くのはなあ、盃三杯も飲めない下戸だしなあ･･･サイパンなら新婚旅行で行ったぞ。が、「役所にもこんな面白いことをして、給料までもらえる仕事があったのかィ! もっと早く教えてョ」。

それから四半世紀。何でこんなに解りづらくなったのさ。んー、3つ覚えると3つ溢れちまう、ジーサン泣かせの法体系だァ。グチグチ、愚痴。でも、違反が起きると更に厳しくなるな。違反を犯させないよう、安直な判断で巻き込まれないようにするのがオイラの務め、明日の講習会も頑張るか!

60を過ぎ、いよいよ下りに加速が付いた年頃。50でダイビングと学校で買い替えた机等によるカンボジアへの支援事業を始めた。「どんな選択肢にも、必ずプラスとマイナスとがある。できるだけ選択肢を多くして多方面から検討、そして行動。」これを肝に、次は何に挑もうかな。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。昨年も各方面の方々のご協力を得まして、本誌を計画どおり発行することができましたことに、あらためて御礼申し上げます。特に、1年間に亘り執筆を賜った「コラム」の慶應義塾大学細田教授および「連載講義」の東京農工大学大学院細見教授、また、「行政だより」、「電子マニフェスト情報」等に寄稿いただいた方々や産廃クローズアップの取材に対応いただいた事業所関係者の皆様に、誌面を借りて感謝申し上げます。また、本号は新春号ということで、JWセンターが平素ご指導、ご協力を賜っている環境省、(公財) 産業廃棄物処理事業振興財団、(公社) 全国産業廃棄物連合会から、年頭のご挨拶をいただき、誠にありがとうございました。

今年はひつじ年です。JWセンター職員メイメイの力を集結させ、一致団結して産業廃棄物の適正処理の推進と循環型社会の構築に邁進していきますので、今後ともご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。　（新　井）

本誌に関する連絡先：総務部広報室　e-mail:jigyo@jwnet.or.jp

【アンケートへのご協力のお願い】
JWセンターのホームページでは、本誌のPDFファイルを掲載しています。ウェブアンケートで皆さまからのご意見等をお聞かせください。
URL　http://www.jwnet.or.jp/publish/kikansi/index.html

日廃振センター情報（季刊）VOL.14 NO.4　発行日：平成27年1月15日　発行人：岡澤和好
発行所：公益財団法人　日本産業廃棄物処理振興センター
〒102-0084　東京都千代田区二番町3番地 麹町スクエア7階
TEL：03-5275-7111　FAX：03-5275-7112　http://www.jwnet.or.jp/
デザイン・印刷　株式会社ぎょうせい